

JP017 大黒島 (だいこくじま)

北海道：厚岸町

位置	N 42° 57′ E 144° 52′
面積	107ha

環境構成【島嶼／草地】

大黒島は、厚岸町の沖約 3 km に浮かぶ、周囲約 6.1km、面積 1.1k m²の無人島。昭和 26 年、島の南西部約 12 ha（全島面積約の 11%）が、海鳥の繁殖地として国の天然記念物に、また同 39 年に道立自然公園として、さらに同 41 年より全島が鳥獣保護区特別保護地区に指定されている。

全島が海鳥繁殖地となっており、コシジロウミツバメ、オオセグロカモメ、ウミウ、ウトウが多数繁殖する。特に、コシジロウミツバメは数十万羽が繁殖し、国内で唯一の大規模繁殖地となっている。かつては、ケイマフリ、エトピリカが少数繁殖していたが、現在はごく稀に観察されるのみである。

選定理由

A4i	コシジロウミツバメ・オオセグロカモメ
A4ii	コシジロウミツバメ・オオセグロカモメ
A4iii	コシジロウミツバメ

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（大黒島）、都道府県立自然公園（厚岸道立自然公園）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物大黒島海鳥繁殖地

保全への脅威

情報なし

鳥類の個体数、生息環境の現状

モニタリングサイト 1000 海鳥調査によると、コシジロウミツバメの巣穴数は 682,440 巣と推定され、1997 年（山階鳥類研究所による調査）から 2012 年まで減少傾向にあった

が、本年は増加に転じた（1997 年比で 7.2% 減）。一方、オオセグロカモメの減少傾向は継続した（1997 年比で 98.1%減少）。オジロワシ が、オオセグロカモメのコロニーに頻繁に飛来し、繁殖への攪乱が確認された。

保全活動

・モニタリング調査：

内容：モニタリングサイト 1000（海鳥調査）

見られる鳥

夏鳥 コシジロウミツバメ、オオセグロカモメ、ウミウ、ウトウ

*大黒島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community